

前期（4-6月）の景況感の大幅悪化に続き今期（7-9月）も悪化の状況が続く。先行き（10-12月）も僅かながら全てのDIが悪化しており、景況感の悪化は長期化の局面を迎える。

■全業種DI

	2018年 7-9月	2018年 10-12月	2019年 1-3月	前期 4-6月	今期 7-9月	先行き 10-12月
2-1. 売上高DIの比較（「増加」-「減少」）	1.0	2.9	-5.3	-18.0	-15.0	-18.9
2-2. 採算DIの比較（「好転」-「悪化」）	-9.0	1.4	-2.2	-17.2	-22.8	-24.3
2-3. 仕入単価DIの比較（「下落」-「上昇」）	-42.8	-35.1	-44.2	-32.8	-32.5	-33.4
2-4. 従業員DIの比較（「不足」-「過剰」）	14.9	20.1	18.4	14.8	15.0	16.5
2-5. 業況DIの比較（「好転」-「悪化」）	-5.5	-2.5	-8.5	-20.9	-25.7	-26.7
2-6. 資金繰りDIの比較（「好転」-「悪化」）	-8.9	-5.7	-6.3	-14.3	-13.6	-15.5

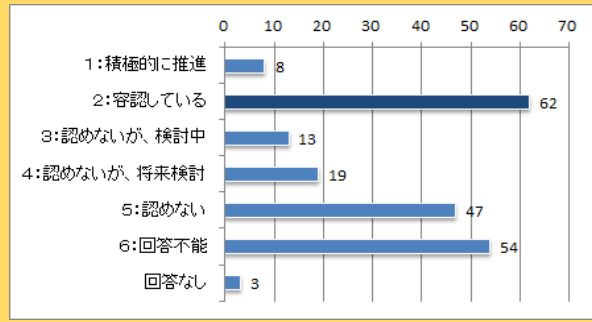
今期（7-9月）の企業の景況感は売上高DIが前期（4-6月）-18.0から今期-15.0に改善したが、前年同期比では16ポイント悪化した。採算DIは前期-17.2から今期-22.8、業況DIは前期-20.9から今期-25.7と前期に続き悪化した。資金繰りDIは前期-14.3から今期-13.6と前期からの悪化のまま横ばいとなった。仕入単価DIは前期-32.8から-32.5と依然マイナス幅が大きく厳しい状況が続く。従業員DIは前期14.8から今期15.0と横ばいだった。

一方、先行きの見通しは売上高DIが-18.9、採算DIが-24.3、仕入単価DIが-33.4、従業員数DIが16.5、業況DIが-26.7、資金繰りDIが-15.5となった。マイナス幅は小さいものの全てのDIは悪化しており、改善の兆しはなく景況感悪化は長期化の局面を迎えている。

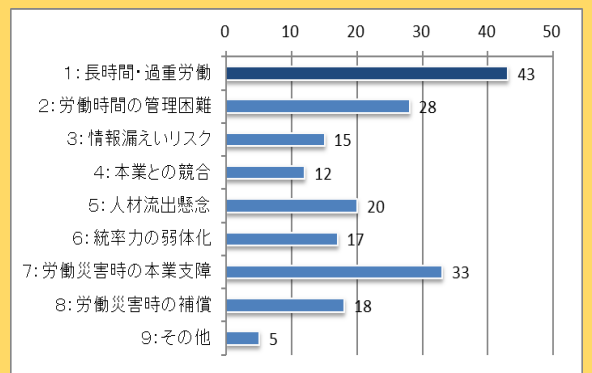
■副業・兼業の取組みについて

副業・兼業の状況については、1位「容認している」：62社（30.1%）、2位「回答不能」：54社（26.2%）、3位「今後も検討する予定はない」：47社（22.8%）、4位「将来的には検討したい」：19社（9.2%）、5位「現在検討している」：13社（6.3%）、6位「積極的に推進している」：8社（3.9%）、7位「回答なし」：3社（1.5%）となった。積極的な企業は3.9%にとどまるが、容認している企業30.1%と合計すると全体の約3分の1の企業は副業・兼業が認められていた。さらに将来的に検討したい9.2%、現在検討している6.3%を合計すると全体の49.5%と約半数まで副業・兼業が広がる可能性がある。

正社員の副業・兼業の状況



副業・兼業を認めない理由



他社の正社員を副業・兼業先として受け入れについては、1位「今のところ検討する予定もない」：93社（45.1%）、2位「回答不能」：41社（19.9%）、3位「将来的には検討したい」：36社（17.5%）が主なものだった。

副業・兼業を認めない企業の理由は、1位「長時間労働・過重労働につながりかねない」：43社、2位「労働災害が起きた際に本業への支障が生じる恐れがある」：33社、3位「社員の総労働時間の把握・管理が困難」：28社が主なものだった。

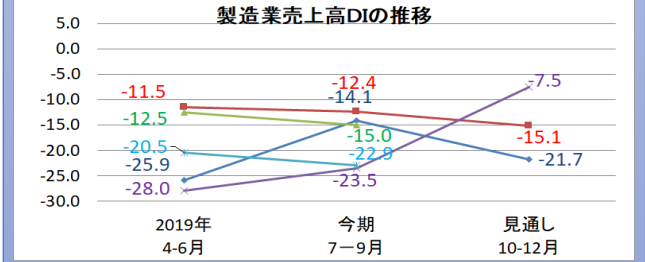
■第19回リアルタイム景況調査概要

本調査は、市内会員企業（小規模事業者）の景況感や、課題等を広く聴取し、データの集積及び周知、延いては要望事項の取りまとめに供するために、原則四半期に1回実施するものである。
 ・調査実施期間：2019年10月7日（月）～10月18日（金） ・調査方法：FAXによる送付、FAXによる回答 ・調査対象：会員事業所2,764社（市内小規模事業者） ・回答数：206社

■業種別売上高DI

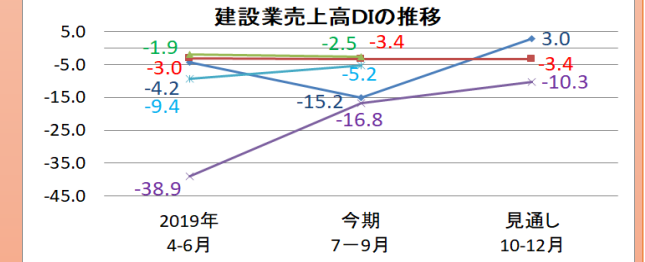
◆ 川口商工会議所「リアルタイム景況調査」
■ 日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」
▲ 中小機構「中小企業景況調査」
✕ 埼玉県四半期経営動向調査
◆ 全国中小企業団体中央会中小企業月次景況調査
 ※注）先行きは本調査および日本商工会議所LOBO調査、埼玉県四半期経営動向調査

■製造業 3期ぶり改善も先行きは悪化



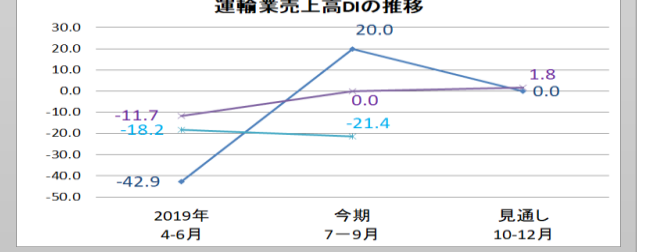
川口市の製造業売上高DIは4-6月の-25.9から7-9月は-14.1と3期ぶりに改善した。先行きは-21.7と再び悪化し、日本商工会議所の-15.5、埼玉県の-7.5を下回る見通し。

■建設業 3期連続悪化も先行きは改善



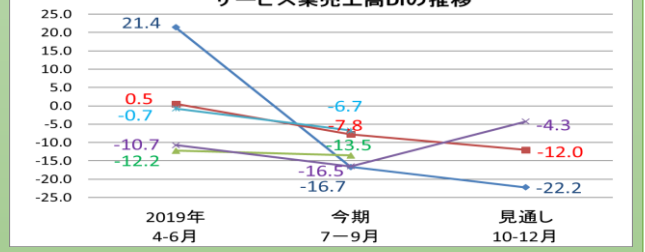
川口市の建設業売上高DIは4-6月の-4.2から7-9月-15.2と3期連続で悪化した。先行きは3.0と改善しプラスに転じ、日本商工会議所の-3.4、埼玉県の-10.3を上回った。

■運輸業 今期大幅改善も先行き再び悪化



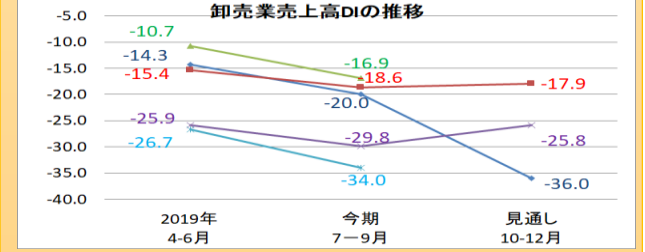
川口市の運輸業売上高DIは4-6月は-42.9から7-9月は20.0と大幅に改善しプラスに転じたほか、埼玉県の0.0、全国中小企業団体中央会の-21.4を上回った。先行きは0.0と悪化し、埼玉県の1.8に比べ僅かに下回る見通し。

■サービス業 今期大幅に悪化しマイナスに



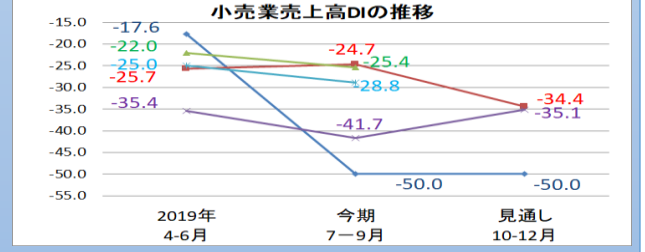
川口市のサービス業売上高DIは4-6月の21.4から7-9月は-16.7と大幅に悪化、マイナスに転じ他調査を下回った。先行きは-22.2と更に悪化し、今期に続き埼玉県の-4.3、日本商工会議所の-12.0も下回る見通し。

■卸売業 今期悪化し先行きは更に悪化



川口市の卸売業売上高DIは4-6月の-14.3から7-9月は-20.0と2期連続で悪化した。先行きは川口市の卸売業だけが-36.0とさらに悪化し、ほぼ横ばいの日本商工会議所の-17.9、やや改善の埼玉県の-25.8を下回る見通し。

■小売業 今期大幅悪化し先行き横ばい



川口市の小売業売上高DIは4-6月-17.6から7-9月は-50.0と前回よりも大幅に悪化し、他調査を下回った。先行きも-50.0と大幅悪化のままの横ばいとなり、今期に続き日本商工会議所の-34.4、埼玉県の-35.1を下回る見通し。